

平成21年度 中央区にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金交付決定事業の概要

資料 3

	団体名・事業名	事業の目的	事業内容	実施方法	住民等の参画及び共同	事業の継続的運営	事業の効果	補助対象経費(円)	交付申請額(円)
①	女池北自治会「おでかけ茶の間」	助け合う安心して暮らせる町づくりのひとつとして、高齢者が気兼ねのない身近な場所で①交流を深める ②心身の健康づくり活動を通して、生きがいをもった人生を過ごしてもらおう。	呼びかけによって、気兼ねなしに集まり、お茶や昼食を共にし、交流を深め、心身の健康づくりを語り合い、講話を聞くなど、名実共に「おでかけ茶の間」としての元気な狭域町づくりを進める。	チラシや自治会回覧版で広報し、鳥屋野公民館で実施。	自治会役員によるボランティア	平成22年度より一部自治会より予算化	「助け合い協力し合う自治会」「みんな健康で元気な自治会」「安心して安全な自治会」に繋げていく。	60,200	30,000
②	NPO つくし工房「～Set! Love in Motion～みんなが仲間、愛のリレーコンサート」	「福祉事業への住民参画をしやすいための環境づくり」 相互理解を深めるきっかけ作りの場を提供する。 要援護者の方々のふれあいの場の提供。 ユニバーサルなそれぞれの愛を、音楽や作業所などの展示販売リレー(つなげていく)活動の場とする。	高齢者、子育て中の人、子ども、要援護者など、一同に介してふれあう場所を提供する。 それぞれの生きがいつくり、ボランティア参画するための、前段階としてお互いを知る場面づくり。 誰もが楽しめる音楽をリレーコンサート形式で、会場を開放し、各福祉施設の作品発表や即売会なども行う。 宮浦中学校生徒有志による、展望室パノラマガイドを実施する。	朱鷺メッセ展望室にてリレーコンサート、作品展示・即売会	リレーコンサート出演者、ボランティアスタッフ、専門学校生	中央区内の各企業に現物での支援を依頼、スポンサー以外からの参加を呼びかける。	①朱鷺メッセ展望室という、オープンなスペースで実施する事により、福祉というものを広く一般に認知・理解しふれあえる。 ②多種多様なボランティアに参画してもらい、幅広い年齢層に福祉を理解してもらえる。 ③障がいを持つ人と接する事により、多くの人に中途障がい等も理解してもらう事が可能となる。 ④それぞれの立場で、音楽を通して一緒に楽しむことで、相互理解を深める。⑤気軽に立ち寄ることの出来るスペースで、それぞれが楽しみながら、リラックスしながらの相互理解が可能となる。	203,670	200,000
③	NPO 越のみちネットワーク女性会議「かけれて、なじらね広場」	地域のくらしを支えあう知恵を貸し合い、医療・福祉にかかわる意識交換の広場を創設する。	設置したまちなかベンチに集う人たちや、デイサービス施設等がかかわるスタッフを交えて、求められている高齢社会の暮らしの知恵と課題をキャッチする。 アンケートを実施し、介護現場の様々な問題・課題を集め、その結果を基に意見交換交流会「かけれて、なじらね広場」を開催する。	介護現場でのアンケート・ヒアリングの実施。 デイサービスセンター慶寿苑で意見交換交流会 かけれてベンチの設置(3ヶ所)	介護現場スタッフ・ネットワーク会員	意見交流会の充実と拡大。 地域の開業医との連携づくり。 かけれてベンチの設置、たまり場づくり。	安心して暮らせる地域づくりに一人ひとりが参画していくシステムをつくり、事業継続する事で、市民一人ひとりのくらしの自助力を高め支え合う風土をつくる。	160,000	160,000